

第65回

日本産科婦人科学会九州連合地方部会

会長/岩坂 剛

第59回

日本産婦人科医会九州ブロック会

会長/片瀬 高



産 迎

平成20年

5月17日土・18日日

ホテルニューオータニ佐賀

〒840-0047 佐賀市与賀町1-2

TEL: 0952-23-1111

佐賀市文化会館

〒849-0923 佐賀市日の出1丁目21-10

TEL: 0952-32-3000



ご 挨拶

日本産科婦人科学会九州連合地方部会の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、第65回日本産科婦人科学会九州連合地方部会・第59回日本産婦人科医会九州ブロック会を佐賀の地で開催させていただくことになりました。平成20年5月17日(土)、18日(日)の2日間、ホテルニューオータニ佐賀および佐賀市文化会館を会場として開催させていただきます。

学術講演会では、まず特別講演を、国立科学博物館の篠田謙一先生をお願いいたしました。篠田先生は、その研究手法のユニークさから、最近テレビに出演されることも多く、ご存じの方も多いかと思います。「DNAが語る人類の世界拡散と日本人の起源」というテーマでお話をさせていただきますが、ミトコンドリアDNAを分析することによって、母方のルーツをたどることができるというお話です。講演を拝聴しながら、自分のルーツに思いを馳せるのも一興かと期待しております。また、ワークショップでは「子宮内膜症の諸問題」というテーマを取り上げさせていただきました。不妊症、月経困難症に止まらず、その発症病理、環境ホルモンとの関連、あるいは発癌に関係した演題を期待していましたが、ほとんどが身近な治療に関係した演題をいただくことになりました。この疾患の治療の難しさと複雑さを如実に物語っているのかもしれませんが。さらに、ランチョンセミナーでは、多くの会員が興味を持っておられる内視鏡下手術の実際について、ビデオを交えて講演していただく予定です。

各種スポーツ大会も例年どおり行います。5月の爽やかな季節のもと、大いに体を動かして日頃のストレスを吹き飛ばしていただきたいと考えております。

会期が短いため、ゆっくり佐賀を楽しんでいただけないのが残念です。数年前に、佐賀城跡に本丸御殿が復元されました。中には、佐賀藩の幕末・明治維新の展示がされており、意気盛んなりし頃の佐賀を今に伝えてくれます。ボランティアの方々の説明も面白く、入場料無料ということもあり、なかなかの評判のようです。時間が許しましたら、一度、足をお運びいただくことをお勧めします。

皆様方のご協力により、実り多い学会となることを祈念しております。

第65回 日本産科婦人科学会九州連合地方部会
会長 岩 坂 剛
第59回 日本産婦人科医会九州ブロック会
会長 片 瀬 高

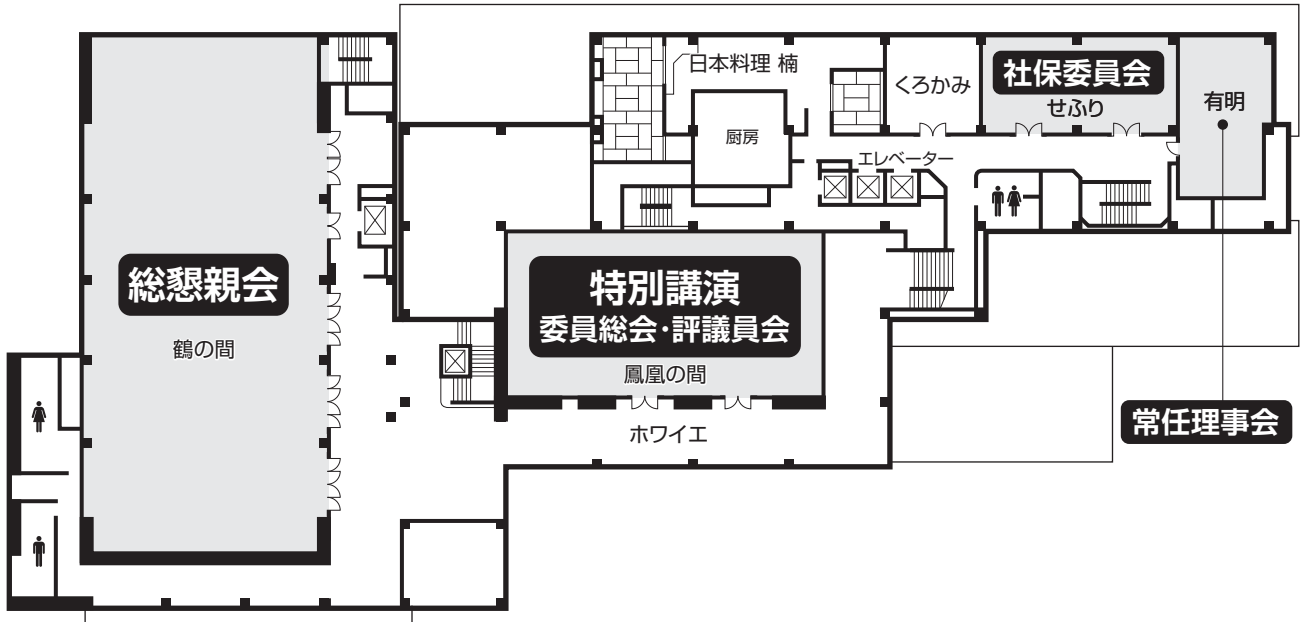
事務局：〒849-8501 佐賀県佐賀市鍋島5丁目1番1号
佐賀大学医学部医学科 産科婦人科学講座 室 雅巳
TEL：0952-34-2319 FAX：0952-34-2057
E-mail：muro@cc.saga-u.ac.jp

5月17日(土)

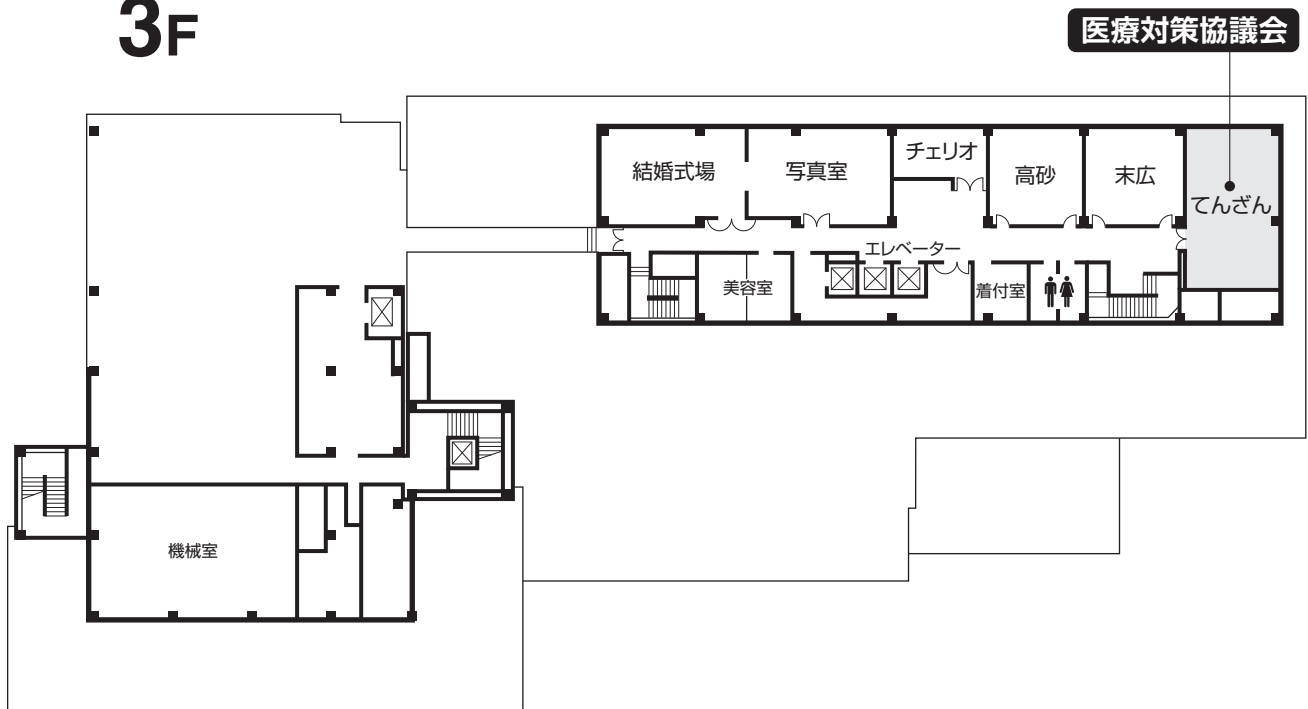
ホテルニューオータニ佐賀

〒840-0047 佐賀市与賀町1-2 TEL: 0952-23-1111

2F



3F

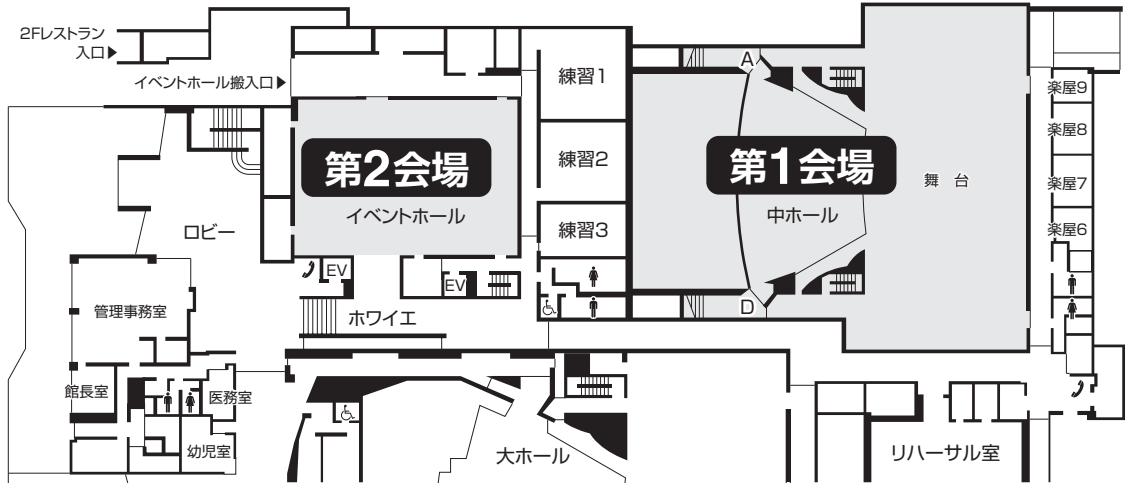


5月18日回

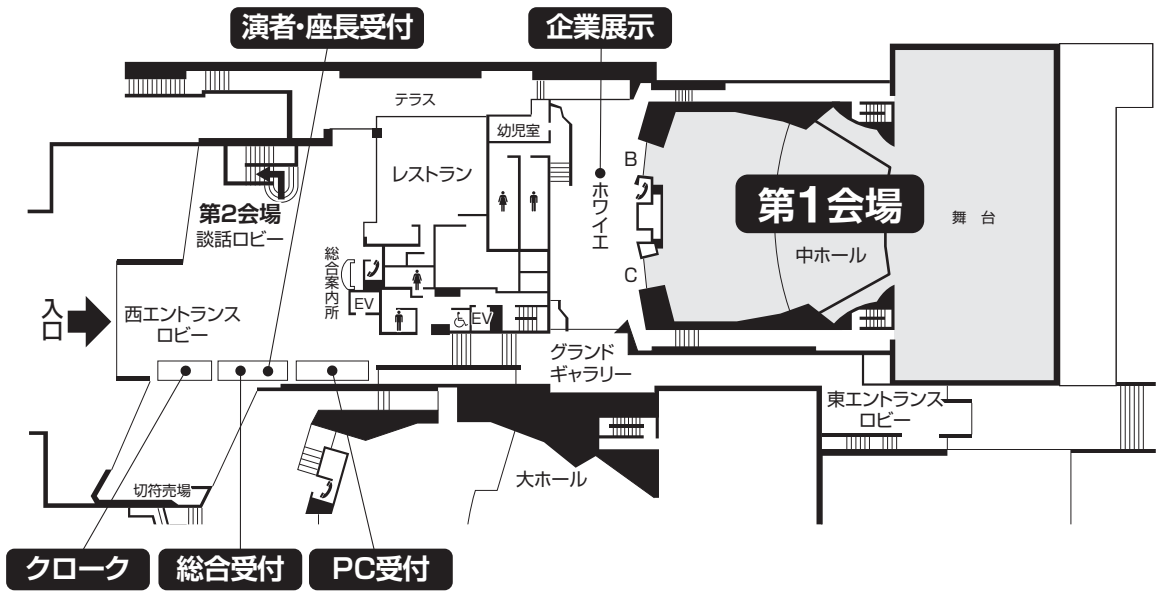
佐賀市文化会館

〒849-0923 佐賀市日の出1丁目21-10 TEL: 0952-32-3000

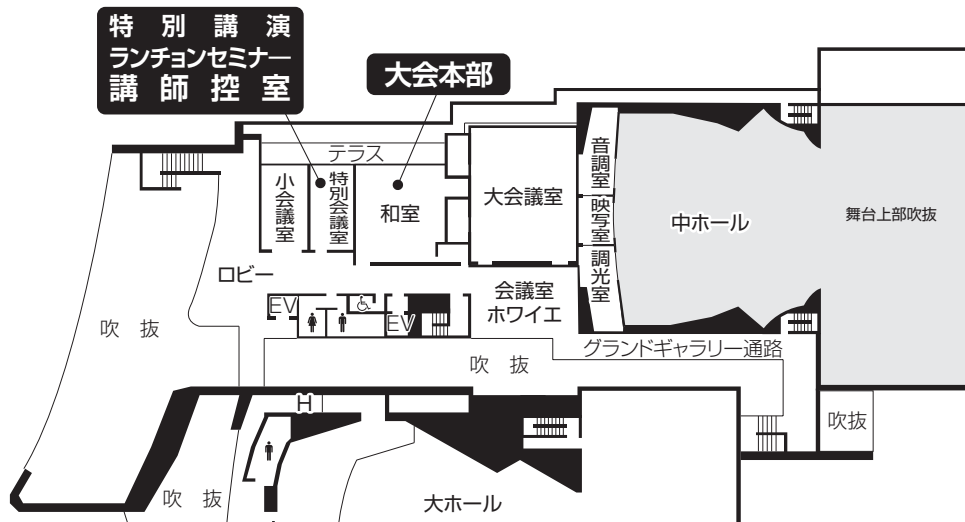
1F



2F



3F



会場周辺地図



会場へのアクセス

ホテルニューオータニ佐賀

- 車**
- 福岡空港から約60分
 - 佐賀空港から約30分
 - 博多駅から約1時間
 - 佐賀駅から約5分
 - ハウステンボスから約60分
 - 長崎自動車道佐賀大和I.C. から約20分

J R 佐賀駅下車(徒歩約30分)

佐賀市文化会館

- 車** 佐賀大和 IC より約10分
- 駐車場 文化会館の駐車場(400台)をご利用ください。

J R 佐賀駅下車(徒歩約20分)

- バス** 佐賀駅バスセンター発→市文化会館前下車(徒歩1分)
- 2番のりば(佐賀市営バス) 金立線30自動車試験場行
 - 7番のりば(昭和バス) イオンショッピングタウン大和行 古湯・北山行、中極経由小城行

第65回 日本産科婦人科学会九州連合地方部会 第59回 日本産婦人科医会九州ブロック会

日 程

平成20年5月16日(金)

日本産科婦人科学会九州連合地方部会理事会 18:00～19:00
場 所:「楊柳亭」佐賀市松原3丁目2-37 TEL:(0952)23-2138

平成20年5月17日(土)

1. 懇親スポーツ大会

- 1) 大学医局対抗懇親野球大会 9:00 開始予定
 - ・スポーツパーク川副多目的グラウンド
佐賀市川副町大字鹿江700番地 TEL:0952-45-8910
 - ・佐賀市東与賀運動公園運動広場
佐賀市東与賀町大字田中327番地1 TEL:0952-45-0375
 - ・佐賀大学医学部グラウンド
佐賀市鍋島5-1-1 TEL:0952-34-2319
- 2) 懇親ゴルフ大会 8:00 開始予定
 - ・花祭ゴルフ倶楽部
佐賀県杵島郡江北町大字山口花祭
- 3) 懇親テニス大会 10:00 開始予定
 - ・グラスコート佐賀テニスクラブ(旧ウィンブルドン九州)
佐賀市金立町千布3907

2. 役員会

- 1) 日本産婦人科医会九州ブロック会役員会(ホテルニューオータニ佐賀)
 - ・常任理事会 2F 有明 14:30～16:30
 - ・社保委員会 2F せふり 15:00～17:00
 - ・医療対策協議会 3F てんざん 15:30～17:00
 - ・委員総会 M2F 鳳凰 17:10～17:40
 - ・特別講演 M2F 鳳凰 17:40～18:00

「産婦人科医の特定検診・特定保健指導に対する取り組み」
日本医師会常任理事
日本産婦人科医会会長特別補佐 今村 定臣 先生
- 2) 日本産科婦人科学会九州連合地方部会評議員会
M2F 鳳凰 18:00～19:00

3. 総懇親会 19:00～21:00
ホテルニューオータニ佐賀 M2F 鶴(会費:8,000円)

受付開始 8:20

開会のご挨拶 8:50

1. 学術講演会

1) 一般演題(婦人科Ⅰ) 第1会場 9:00~9:30
 (産科Ⅰ) 第2会場 9:00~9:30

2) ワークショップ

「子宮内膜症の諸問題」 第1会場 9:30~11:00

3) 特別講演 第1会場 11:05~12:00

「DNA が語る人類の世界拡散と日本人の起源」

国立科学博物館 人類研究部 研究主幹 篠田 謙一

4) 一般演題(婦人科Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ) 第1会場 13:45~16:27
 (産科Ⅱ・Ⅲ・婦人科Ⅴ) 第2会場 13:45~16:09

2. ランチョンセミナー 第2会場 12:10~13:00

「婦人科内視鏡手術の最前線」

近畿大学医学部産科婦人科学(産科部門)教授 塩田 充

3. 日本産科婦人科学会九州連合地方部会および日本産婦人科医会九州ブロック会総会

第1会場 13:05~13:45

閉会のご挨拶 16:30

1. 参加者へのご注意

- 1) 総懇親会(17日)および学術講演会(18日)の入場の際は、必ず参加証を着用して下さい。また参加証は1つで、総懇親会および学術講演会の兼用になっておりますので、紛失されないようお気をつけ下さい。
- 2) 学術講演会の受付は5月18日(日) 8:20より、総合受付(佐賀市文化会館2階エントランスロビー)にて行います。
- 3) 日本産科婦人科学会専門医シール、日本産婦人科医会研修シールを発行しますので、総合受付にてお申し出下さい(参加証の提示をお願い致します)。
- 4) 呼び出しは総合受付にご連絡をお願い致します。

2. 座長受付について

座長の先生方は、講演開始30分前(産科 I および婦人科 I は15分前)までに、座長受付をお済ませ下さい。

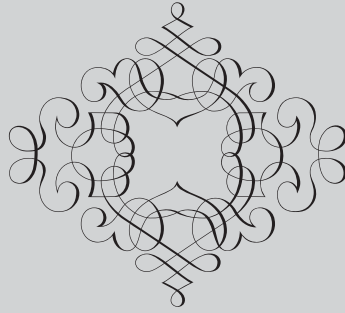
3. ワークショップ演者および一般演題演者へのご注意

- 1) 発表はすべて口演発表で、発表機材はPCのみ受付を致します(スライドやビデオは不可)。
- 2) スクリーンは1面で、発表には液晶プロジェクターを1台使用します。
- 3) 会場に設置する発表用PCのOSおよびアプリケーションはWindows XP PowerPoint 2003です。発表用データはCD-RかUSBストレージにてお持ち下さい。バックアップとして各自、予備データを会場にお持ちいただくことをお勧めします。Macintoshをご使用の場合はご自身のPCをご持参下さい。またWindows Vista/PowerPoint 2007をご使用の方もご自身のPCをご持参ください。電源コードもご用意ください。
- 4) Windowsに標準搭載されているフォントを推奨いたします。
- 5) 動画をご使用の際は、PC本体自体をお持ち込み下さい。
- 6) 発表当日、発表開始時間の30分前までに必ず演者受付でエントリーをして下さい。
- 7) ワークショップに関しましては、発表時間10分、質疑応答3分です。一般演題に関しましては、発表時間6分、質疑応答3分です。発表制限時間の1分前に緑ランプ、終了時に赤ランプでお知らせします。実際の進行に関しましては座長に一任しておりますが、時間厳守でお願い致します。

5月18日

大会日程

第1会場(中ホール)		第2会場(イベントホール)	
	8:50 開会のご挨拶		
9:00	9:00~9:30 婦人科I 座長：小林 裕明	9:00~9:30	産科I 座長：中山 大介
9:30	9:30~11:00		
10:00	ワークショップ 「子宮内膜症の諸問題」 座長：堂地 勉 榎原 久司		
10:30			
11:00	11:05~12:00 特別講演 「DNAが語る人類の 世界拡散と日本人の起源」 座長：岩坂 剛 演者：篠田 謙一		
11:30			
12:00		12:10~13:00 ランチョンセミナー 「婦人科内視鏡手術の最前線」 座長：横山 正俊 演者：塩田 充	
12:30			
13:00	13:05~13:45 連合地方部会およびブロック会総会		
13:30			
14:00	13:45~14:39 婦人科II 座長：沖 利通	13:45~14:30 産科II 座長：鮫島 浩	
14:30			
15:00	14:39~15:33 婦人科III 座長：江本 精	14:30~15:15 産科III 座長：吉松 淳	
15:30			
16:00	15:33~16:27 婦人科IV 座長：松浦 祐介	15:15~16:09 婦人科V 座長：牛嶋 公生	
16:30	16:30 閉会のご挨拶		



プログラム・抄録集

特別講演 11:05～12:00(第1会場)

座長：佐賀大学医学部産科婦人科学教授 岩坂 剛

[DNA が語る人類の世界拡散と日本人の起源]

国立科学博物館 人類研究部 研究主幹 篠田 謙一 先生

ワークショップ 9:30～11:00(第1会場)

[子宮内膜症の諸問題]

座長：鹿児島大学医学部産婦人科教授 堂地 勉
大分大学医学部産婦人科教授 榎原 久司

W-01 当科における子宮内膜症に対する腹腔鏡下手術と薬物療法の工夫

鹿児島大学 産婦人科

○山崎 英樹、藤山小百合、福田 美香、神尾 真樹、まつお隆志、
沖 利通、吉永 光裕、堂地 勉

W-02 腹腔鏡下卵巣子宮内膜症性嚢胞摘出術は卵巣の反応性を低下させるのか？ —生殖補助医療における検討—

高邦会高木病院 産婦人科¹⁾、柳川病院 産婦人科²⁾、佐賀大学医学部 産婦人科³⁾

○野見山真理¹⁾、有馬 薫¹⁾、牧田 涼子¹⁾、小島加代子¹⁾、
本村 聡²⁾、岩坂 剛³⁾

W-03 子宮内膜症による癒痕形成に対する薬物療法 ～ in vitro model を用いての検討～

大分大学医学部 産科婦人科

○弓削 彰利、奈須 家栄、西田 正和、松本 治伸、津野 晃寿、
榎原 久司

W-04 子宮内膜症の治療：副作用軽減を目的としたダナゾール腔坐薬投与療法の検討

熊本大学大学院医学薬学研究部 産科婦人科学

○本原 研一、岡村 佳則、高石 清美、斉藤 文誉、本田 智子、
本田 律生、田代 浩徳、大場 隆、片渕 秀隆

W-05 子宮内膜症の増殖における月経血中に混入する大腸菌の関与

長崎大学医学部 産婦人科¹⁾、長崎市民病院 産婦人科²⁾、佐世保中央病院³⁾

○カレク・ネワズ・カーン¹⁾、北島 道夫¹⁾、平木 宏一¹⁾、
藤下 晃²⁾、石丸 忠之³⁾、増崎 英明¹⁾

W-06 妊娠に関連して、子宮内膜症病巣より大出血を来した2症例

宮崎県立延岡病院 産婦人科・周産期科

○田中 博明、神尊 洋美、川口日出樹、大塚 晃生、寺尾 公成

一般演題 〈第1会場〉

婦人科 I 9:00～9:30(第1会場)

座長 九州大学医学部産婦人科講師 小林 裕明

0-01 絨毛癌脳転移新鮮例に対する

High-dose MTX EMA/CO+ 全脳照射同時併用療法2例の経験

琉球大学 産婦人科

○若山 明彦、長井 裕、伊志嶺 梢、屋宜 千晶、平川 誠、
稲嶺 盛彦、青木 陽一

0-02 HCG 低値を示した膈壁発生の絨毛癌の一例

株式会社麻生飯塚病院 産婦人科

○白橋 浄彦、松岡 良衛、疋田 祥子、小野 晶子、麻生 麻木、
有働 俊啓、江口 冬樹

0-03 当科で経験した Placental site trophoblastic tumor (PSTT) の一症例

大分県立病院 産婦人科

○林下 千宙、中村 聡、佐藤 昌司、豊福 一輝、軸丸三枝子、
嶺 真一郎、後藤 清美、山口 裕子、山根 敬子、松本 英雄

DNA が語る人類の世界拡散と日本人の起源

国立科学博物館 人類研究部 研究主幹 篠田 謙一 先生

近年の分子生物学の発展は、私たちの持つ DNA に刻まれた過去の歴史を読み解くことを可能にした。その結果、私たち現代人の起源や拡散のルートなどに関して新たな学説が提唱され、人類学の分野に大きな影響を与えるようになっている。更に、ここ十年ほどの研究の進歩は、古人骨由来の DNA の解析すら可能にしている。今回の講演では、ヒト DNA を分析した結果明らかとなった現代人の系統関係を概観し、これまで解析された縄文人と弥生人の DNA データを基にした日本人の起源について解説する。

今回紹介するのは、進化速度が速いことから人類集団の内部の多様性について考察するのに都合の良いミトコンドリア DNA (mtDNA) の解析から得られたものである。mtDNA は細胞質内にある環状の DNA で母系に遺伝する。現代人集団の mtDNA 解析の結果、その共通祖先は 13～17 万年前のアフリカの女性に行き着くことが明らかとなっている。私たちの祖先 (新人) は 7～6 万年前にアフリカを出て世界中に拡散したと考えられており、mtDNA は移住の過程で突然変異を繰り返すことによって様々なグループ (ハプログループ) に分かれていった。この変化を逆にたどることによって、各地の現代人集団が歩んできた道のりを復元することができる。

現代日本人は、16 ほどのハプログループから構成されているが、その源郷はアジアの広い地域に分散しており、日本人の成立は相当に複雑なものであったことを予想させる。日本人が持つハプログループの流入時期の解明には、直接古代人の持つ DNA を分析することが必要となる。これまで解析された縄文人の分析結果では、関東の縄文人は比較的多くのハプログループを持つが、北海道のものは極端に偏った構成をしていることが分かっている。主として北部九州地方から出土した渡来系弥生人のハプログループは、縄文人とは大きく異なっており、両者が系統を異にする集団であることを示している。

現代日本人を含めて近縁関係の解析をすると、本土の日本人は縄文人と渡来系弥生人の中間に位置し、両者の混血によって現代日本人が成立したという、二重構造説の主張を裏付けている。これに対し、沖縄や北海道のアイヌ集団は本土の日本人とは異なっており、これらの集団が本土日本人とは異なるポピュレーションヒストリーを持っていることがわかる。

今後、周辺国を含めた多くの遺跡から出土した人骨の解析が進めば、古人骨の DNA 分析は更に詳細な日本人起源論を構築することになるだろう。

W-01

当科における子宮内膜症に対する 腹腔鏡下手術と薬物療法の工夫

鹿児島大学 産婦人科

○山崎英樹、藤山小百合、福田美香、神尾真樹、
まつお隆志、沖 利通、吉永光裕、堂地 勉

子宮内膜症の根治的治療が子宮・卵巣摘出であることは言うまでもない。しかし本疾患は比較的若年婦人に発生するため、妊孕性を温存しなければならないことが多く、その治療方針に苦慮することが少なくない。われわれの施設では手術療法にて子宮内膜症をできるかぎり完全に除去することを基本的な治療方針としている。

腹腔鏡下手術は手術創が小さいため術後の痛みが軽く、早期離床・早期退院・早期社会復帰が可能であり、癒着が発生しにくいことが知られている。また拡大視野下の手術であるため、開腹手術と比較して繊細な操作が可能である。さらに入院期間の短縮や病床回転の速さなど、施設のメリットも大きい。外科的侵襲・妊孕性温存の観点から腹腔鏡下手術が望ましいことは周知の事実であり、われわれの施設でも腹腔鏡下子宮内膜症病巣除去術を第一選択としており、第62回・63回・64回の本学会でその有用性を報告した。しかし多くの場合、子宮内膜症は腹膜・腸管など周囲の臓器と癒着しており、腹腔鏡下に完全除去するためには高度な剥離・修復・再建技術が必要不可欠である。

本学会ではわれわれが行っている、手術適応(不妊症と月経痛に対するストラテジー)、手術の工夫(希釈バズプレシン注入法)、手術のコツ(とくに深部子宮内膜症の除去)、について手術映像を供覧するとともに、術後の薬物療法の工夫についても言及する。

W-02

腹腔鏡下卵巣子宮内膜症性嚢胞摘出術は 卵巣の反応性を低下させるのか？ —生殖補助医療における検討—

1)高邦会高木病院 産婦人科、2)柳川病院 産婦人科、
3)佐賀大学医学部 産婦人科

○野見山真理¹⁾、有馬 薫¹⁾、牧田涼子¹⁾、
小島加代子¹⁾、本村 聡²⁾、岩坂 剛³⁾

【目的】 卵巣子宮内膜症性嚢胞(以下 EC)手術既往を有する場合、卵巣機能低下や癒着のため採卵不可能の難治性不妊をしばしば認める。当科では EC 摘出術は腹腔鏡下に正常卵巣実質を可能な限り残し残存卵巣の縫合は原則無縫合としている。生殖補助医療(以下 ART)における EC 術後の卵巣の反応性について検討した。

【方法】 2004年5月から2007年12月までに当科にて腹腔鏡下に2cm以上の EC を摘出し術後に ART を施行した不妊症患者は12例(A群)であった。同一期間に ART を行なった2cm以上の EC を有する症例は48例(B群)、手術既往例は除外した。EC を合併しない卵管性不妊は207例(C群)であった。ART3回目までの採卵周期数は A 群19周期、B 群91周期、C 群325周期。各群の ART 結果を比較した。

【成績】 A 群の ASRM スコアは平均 59.7 ± 27.8 点、stage は III 期4例、IV 期8例。A 群の EC 直径は 52.8 ± 24.1 mm, B 群の 34.2 ± 11.4 mm と比べ有意差 ($P < 0.01$) を認めた。AB 群の EC 個数、両側/片側に差はなかった。3群間の年齢、不妊期間、卵巣刺激法に差はなかった。平均採卵数、受精卵数、正常分割胚数は A 群 6.1 ± 5.6 , 3.4 ± 3.7 , 2.1 ± 2.1 、B 群 5.8 ± 4.7 , 3.6 ± 3.4 , 2.6 ± 2.5 、C 群 8.8 ± 6.3 , 5.5 ± 4.2 , 3.7 ± 2.9 。採卵あたりの妊娠率は A 群 31.6% (6/19)、B 群 29.7% (27/91)、C 群 39.1% (127/325)、各群間に差はなかった。

【結論】 ART 周期において腹腔鏡下 EC 摘出術による卵巣の反応性低下は認められなかった。

第65回 日本産科婦人科学会九州連合地方部会
第59回 日本産婦人科医会九州ブロック会

発行者：岩坂 剛、片瀬 高

発行所：第65回日本産科婦人科学会九州連合地方部会事務局
佐賀大学医学部医学科 産科婦人科学講座
〒849-8501 佐賀県佐賀市鍋島5丁目1番1号
TEL：0952-34-2319 FAX：0952-34-2057

印刷：Next COMPANY **Secand** 株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025